

令和8年度

推薦Ⅰ 入学試験問題
学校教育コース 教育学専攻
(小論文)

注意事項

1. 「解答をはじめ」の合図があるまで、冊子を開かないこと。
2. 問題は全部で2問である。両方とも解答すること。
3. 受験番号は、解答用紙上の指定された箇所に必ず記入すること。すべての解答用紙に記入すること。
4. 試験終了後、問題用紙・解答用紙ともに回収するので、持ち帰らないこと。

問題 1 (配点 60)

次の文章は、思想家の内田樹氏の著書からの引用です。この文章を読んで、後の設問に答えなさい。

著作権の関係上、公開しません。

(出典：内田樹『街場の教育論』ミシマ社，2008年，211～212頁を改変)

設問 1. この文章は、近年の就職の採用面接において重視されることの多い「コミュニケーション能力」の大切さについて述べています。この文章において、内田が「競争」よりも「協働」を求めていることについてどのように考えますか。あなたがこれまでに出会った友人や先輩・後輩との経験を踏まえて論述してください。

設問 2. 将来自分が教師になったとき、「同じ学校の同僚の先生たちのパフォーマンスを高める知識と技術」を備えるために、これからどのような取り組みを行っていきたいと考えますか。内田の文章を参考にしながら、具体的に述べてください。

問題2 (配点 40)

次の文章は、教育社会学者の内田 良氏の著書からの引用です。この文章を読んで、後の設問に答えなさい。

著作権の関係上、公開しません。

(出典：内田 良『教育という病』光文社新書，2015年，84～86頁を改変)

設問. 著者は、この「残り1割」について、教師側が「子どもと保護者の関係」に不用意であると指摘し、例えば虐待を受けた子どもへの配慮が欠如しているのではないかと問題を提起している。この指摘から、こうした行事をおこなう教師には周到な配慮が求められると考えることができる。あなたが「2分の1成人式」を実施する教師であるとして、「家庭内の虐待・暴力の可能性」のほかどのような生徒や家庭に配慮が必要になると考えられるか、またその場合どのような対応・対策をとっておくことが大事になると思うか、配慮点とその対応・対策についてそれぞれ具体的な可能性を挙げてみてください。複数になってもかまいません。

